

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-IV-10

4-IV-10

4-IV-10	章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	地域の「語り部」育成
	節	IV ホスピタリティの醸成		
	事業(施策)名	10 地域の「語り部」育成支援	事業主体	佐渡市社会教育課
	事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	【事業目的】 ○佐渡金銀山にまつわる言い伝えや地域文化等を地域の子どもや来訪者に紹介する「語り部」を育成し、郷土愛の醸成と地域の魅力発信を図る。 【事業内容】 ○島内各地の公民館講座で、「語り部」育成講座を設置し、保育園、学校、宿泊施設等での発表機会を設ける。			
R元事業計画と実績	【元年度計画】 ●公民館講座や自主講座の活動の中で、佐渡金銀山に関する民話や物語等を学習する機会を受講生や参加者の方々に提供する。 【元年度実績】 ●公民館自主講座の語り部グループや図書館ボランティアグループに声かけしながら金銀山に関する物語や民話を広め、高齢者学級等の講座や学校等での読み聞かせを行った。 ●赤泊小6年生の児童・保護者を対象に金銀山の昔話を行った。 ●2019佐渡自然学園ウインターコースの参加児童(37人)に金銀山の昔話を行った。 ●2月に親子ふれあい教室と図書館ボランティアグループのイベントの1コマで金銀山の昔話を行う予定である。			
課題・今後の取組	【課題】 ■金銀山や民話の関連地区のみならず、全地区で金銀山に関する物語や民話を広める活動を行う必要がある。 【今後の取組】 ■他団体の協力を得ながら、公民館講座や親子ふれあい事業、学校等で佐渡金銀山にまつわる言い伝えや地域文化等を多くの住民に伝えていく。 ■赤泊小6年生の児童・保護者を対象に金銀山の昔話を行う。 ■2020ウインターコースの参加児童に金銀山の昔話を行う。 ■親子ふれあい教室と図書館ボランティアグループのイベントの1コマで金銀山の昔話を行う。			
事業評価	【事業の達成度】 [a (b)・c] 【事業実施の効果】 [a (b)・c] 【総合評価】 [A (B)・C]	◇今後も他団体等への声かけをしながら佐渡金銀山にまつわる言い伝えや地域文化等を各地区の住民に伝え、郷土愛の醸成と地域の魅力発信を図る。		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。